

1999

千葉県建築文化賞

第6回表彰作品集

千葉県建築文化賞について



千葉県知事 沼田 武

第6回千葉県建築文化賞に、多くの皆様から御応募をいただきありがとうございました。

千葉県では現在、「ちば新時代5か年計画」において、「文化的魅力のある都市の形成」を重要な政策課題の一つに掲げ、まちづくりにおける地域文化の創造や「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づく社会福祉空間づくり、さらには地域環境の保全のための「環境にやさしい建築物」の整備などを推進しているところです。

千葉県建築文化賞はこうした施策の一環として、うるおいとやすらぎに満ちた快適なまちづくりを推進することを目的に平成6年度に創設しました。そして、昨年度からは、人と環境に対して安全・安心で快適な性能を備えた建築物が、地域環境の保全にも寄与すると考えられることから、それまでの「景観に配慮した建築物」と「高齢者・障害者等に配慮した建築物」に「環境に配慮した建築物」を加え、3部門として表彰することといたしました。

第6回目となる今年度は101件の御応募をいただきましたが、選考委員による現地調査を含めた厳正な選考過程を経て、景観や高齢者・障害者並びに環境への配慮がなされた優れた建築物として建築文化賞6点、建築文化奨励賞3点を決定しました。

今後、県ではこれらの建築物が都市景観の形成や建築文化の向上の先導役となるような生活環境づくりを推進してまいります。

また、本県では、昨年、21世紀の県政運営の総合的指針となる長期ビジョン「みんなでひらく2025年のちば」を策定しました。

そして、このビジョンに基づく第1次の総合5か年計画を本年中に策定することとしています。

平成13年度から始まるこの計画では、「みんなで」「安心」して暮らせる「元気な」千葉県づくりをテーマに、重点的に取り組む課題とその対応策を明示し、21世紀の県民一人ひとりの幸せづくりや、地域の自立と発展を目指してまいりますので、県民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、選考委員をはじめとする関係者や応募された方々、後援・協賛団体各位の御協力に深く感謝申し上げます。

平成12年3月

選考経過・総評

選考委員長 北原理雄

第6回建築文化賞に対して今年も多くの方々からご推薦をいただき、応募総数は101件(建築数78点)となった。数のうえでは昨年度を下回ったが、きびしい経済状況のもとで100件を超える応募があったことは、本賞が広く県内外に定着してきたことの一証左として心強い。

今回も、景観に配慮した建築物、高齢者・障害者等に配慮した建築物、環境に配慮した建築物の3部にわけて応募を行った。応募件数は、これまでどおり景観部門が57件と最も多かったが、高齢者・障害者部門も25件にのぼり、この面への配慮が一段と浸透してきたことがうかがわれた。環境部門は19件と昨年並みであった。

審査は、例年のように、まず応募図書に添付された説明書と写真によって18点の建築物を選び、それらを現地訪問して詳細に調査した。そのうえで現地調査の報告をもとに討議を行い、表彰者を選考した。

この結果、建築文化賞は各部門2点、奨励賞は各部門1点を表彰候補として確定した。

景観に配慮した建築物

今回も、自治体の建てた建築物の応募が多く、公共施設の質の向上を改めて印象づけられたが、従来この部門に多かった住宅が6件と激減し、物足りなさを感じさせた。次回以降、住宅の応募数が回復することを期待したい。

建築物の景観への貢献には視覚的な美しさに加えて、建築物を利用する人びとの活動が周辺との交流を生み、景観を生き生きとしたものにする側面がある。入賞した「印西市ふれあい文化館」と「アミュゼ柏」は、いずれも美しさと生活の両面に巧みに配慮している点が評価された。

「堀田邸」は、明治期の上流和風住宅の保存整備であり、新築建築物と同列に評価することは難しいが、庭園と一体となった文化的価値を認めて奨励賞とした。

なお、「知的障害者更生施設ガーデンセブン」は、

南に崖を背負う不利な敷地で質の高いデザインを実現している点が評価されたが、硬質でやや冷たい印象を与えること、また使い勝手に疑問が残ることから、今回は授賞を見送った。

高齢者・障害者等に配慮した建築物

福祉施設の応募が最も多いが、今回は住宅に見るべきものが多く、レベルアップが顕著であった。特に、身体の不自由な父親と若夫婦のために建てられた「指宿邸」は、高齢者の自立努力への配慮とともに、介護の中心となる妻の生活に対する優しい心配りが感じられた。

福祉施設では、「サニー秋桜」が、入居者の日常生活を重視した、手づくりのケアハウスとして評価された。傾斜屋根の建物は、緑の残る周辺の景観とも調和している。「清水観音の森駐車場便所」は、小さな町と設計事務所が限られた予算をやりくりして利用者に配慮した好感の持てる建築物である。

環境に配慮した建築物

「環境」という概念は多義的である。自然保護が環境への配慮であることは、誰もが認めるところだが、建築物は、多かれ少なかれ人工的に環境をつくり出す側面を持っている。

しかし、この部門の設置趣旨を考えると、技術的な解決だけでなく、環境共生型の工夫をこらした応募がもっと増えることを期待したい。

「君津市保健福祉センター」は、可変ルーバーをデザイン要素として巧みに使いこなし、複雑なプログラムを意欲的にまとめあげている。選には漏れたが、「東葛テクノプラザ」にも環境への配慮とデザイン性を両立させる斬新な工夫が見られた。「ガーデンプラザ新検見川」は、大規模なマンション開発の中で、住民参加型のピオトープづくりに取り組んでいる姿勢が共感呼んだ。「草深中央公園」は、トイレ屋上のソーラーパネルと併せて、防犯や保守管理への配慮が評価され、奨励賞となった。



建築文化賞

景観に配慮した建築物

印西市ふれあい文化館

所在地：印西市原3丁目4番地

施主：印西市

設計：(株)石本建築事務所

施工：鹿島建設(株) 東京支店 千葉営業所



撮影：松井洋子

この建設地は戦時中まで飛行場として使用された、千葉県北総地域の西、標高20～30mの平坦な北総台地にある。昭和45年に千葉北部地区新住宅市街地開発事業の許可を得、都市計画事業として造りが開始された。その後、北総開発鉄道の開業、千葉ニュータウン事業の進展にともない、北総公団線の相互乗入れにより平成6年に入居が開始され、平成7年に印西牧の原駅までの鉄道延伸が実現された。

この印西牧の原に建設された本施設は、北総台地の豊かな緑や印旛沼、手賀沼、利根川等優れた自然環境に恵まれ、印西牧の原駅から続く南北のシンボルロード上に位置し、北側の近隣公園、西側の原小学校と共に住区中央の交流の核として位置づけられている。

建築の計画は敷地の高低差を利用し、階段状広場北側のランドフォームと水をテーマとした一体的、連続的なランドスケープの形成が評価できる。しかも中庭を囲む透明な回遊動線は公民館、図書館、児童館、老人福祉センターを複合施設として連坦するとともに、児童から高齢者までの学習とコミュニティの場、いわゆる多世代交流型都市の拠点として、誰もが参加できるような活性化したアクティビティを、ガラススクリーンを透してその情景を外部に発信している建築の新しいシンボル性のあり方の提案である。



また、外観は固定された建築物の表情ではなく、季節や天候、時間等によりその顔を変え、環境と共に生き、人が主役の景観を表現している。

(周郷紀男)

所在地：柏市柏6丁目2-22

施主：柏市

設計：(株)日本設計

施工：東急建設(株)東関東支店・(株)長谷川工務店・斎藤建設(株)

景観に配慮した建築物

アミューゼ柏



撮影：ナカサ&パートナーズ

4

JR柏駅に近い中心市街地の一角に、公民館・ホール・近隣センターの3施設を複合したハイセンスな文化施設がオープンした。

道路に面した外観を透明感あふれるガラスボックスで覆い、一階の市民プラザと二階ホールのホワイエやシースルーエレベーター等の人々の賑わいを外部に表出させて、街区に活気を与え、街並みの景観形成の核として周辺への波及効果が期待されている。

建物の中心に設けられた自然光を採り入れた4層吹き抜けのアトリウムは、3施設を視覚的に一つにまとめる役割を果し、公民館と近隣センターの吹き抜け側をガラススクリーンにすることによって、各室の活動の様子が垣間見られるように工夫されている。

市民プラザの可動間仕切りを解放すると、プラザとホワイエ、街路が一つの空間となり、それらを一体化して利用することもできる。

屋上に緑の庭園を設けて人工と自然との融合を追求した環境デザインなど、景観及び環境形成の両面において高い評価が集まった。

施工精度も素晴らしく、発注者と設計者、施工者が三位一体となって丁寧に創りあげた公共施設として建



撮影：H.Fukunishi

築文化賞の名に相応しい。

高齢者に対して優しさに欠ける部分もあるのではとの指摘もあったが、今後の運営面においてカバーして欲しいと願っている。

(明智克夫)



高齢者・障害者等に配慮した建築物

いぶすき

指宿邸

所在地：習志野市大久保3-5-15

施主：指宿正美・加代子

設計：夏目設計事務所

施工：(有)木源ハウジング



指宿邸は、脳溢血の後遺症で自宅で療養生活をするようになった老主人と同居する息子夫婦、それに老主人の愛犬一匹のために建設された住宅である。

一階には、老主人の居室が居間に連続してとられ、天井まである引戸を開閉することによって、家族とのだんらんを楽しんだり、ちょっと横になって休んだりといったことが無理なくできるようになっている。

また、台所は若い主婦の心地のよい居場所として、家全体に比べると少しゆとりのあるスペースと設備になっている。

二階は若夫婦のための空間である。ベッドから星の見える寝室、趣味を楽しむための和室、納戸などが、最小限のスペースの中に立体的に具合良く配置されている。

いわゆるバリアフリーとしての対応は、玄関からの廊下幅を広くして、その真ん中にポールをたてることにより、手すりを設置するようになっている。手すりを設置する壁がないために考え出されたアイデアである。開口部は幅を広くし、引戸もしくは折戸である。

ところで、残念なことに、老主人は愛犬を残して一



昨年亡くなられた。今は若夫婦と一匹のための住まいである。しかし、障害を持つ住み手がなくなったにもかかわらず、何も不自然な感じがしない。

バリアフリーということをことさらに強調した設計ではなく、長く住まえる柔軟さと強靱さを備えた住宅であり、建築文化賞とした。

(園田真理子)

所在地：千葉市若葉区東寺山町2-6
 施主：社会福祉法人希桜会
 設計：(株)榎本建築設計事務所
 施工：(株)鴻池組 東京本店

高齢者・障害者等に配慮した建築物

きおうかい
社会福祉法人希桜会
ケアハウス サニー秋桜



撮影：北爪幸雄

この施設は、老人福祉の新しい展開とともに造られてきているケアハウス、つまり介護利用型軽費老人ホームである。身辺自立がほぼ可能で、少しのサービスの提供があれば生活できる人を対象とするものである。

開設後一ヶ月ですべての部屋がふさがったというのも頷ける建物の落ち着いた雰囲気と入居者の自由な日常がある。

モノレールのみつわ台駅から徒歩で5分の場所にある。縦長の長方形の二つが半分ほど接してずれて繋がっているという変形した敷地条件を逆手にとって、実に巧みな設計がなされている。道路サイドに管理棟と集会室や食堂などの共用棟をもってきて、道路の騒音を遮るとともに居室棟との距離を作り、居室棟は敷地の長方形の繋ぎの部分を生かして弧を描くように配し、すべての居室が南東もしくは南を向き、殿山ガーデンの借景もあり、静かで穏やかな居住空間となっている。内装外装とも極上ではないが、実に適度であり、気持ちよい。日本の社会福祉法人の施設もこのレベルまで来たかという感慨をもった。

(川上昌子)





環境に配慮した建築物

君津市保健福祉センターふれあい館

所在地：君津市久保2-13-1

施主：君津市

設計：(株)坂倉建築研究所

施工：新日本製鐵(株)・大野屋建設(株)



7

この建築はJR君津駅東口から徒歩3分、区画整理された敷地3,000坪に、東西およそ80m、南面する三層の長い雛壇を重ねたシンプルな外観が、正統派モダンの格調ある容姿を輝かせて周囲に際立つ。

正面前庭は広い芝生、建物際にそった浅池が天空を映して水をたたえ、威圧感を和らげる雛壇状の建築外観と共に、駅が近く狭雑になりやすい街区にゆとりの空間を提供した。

雛壇の駆体構造が可能にした建築空間の特徴は、各階の広いフロントデッキの余裕と、固定した耐震壁の少ない屋内間仕切りの自在性である。さらに設備系機器と配管類は、各階のアクセスフリー床を通して北側外壁に露出させ、保守管理や可変性を容易にしている。

フロントデッキと屋内空間の快適性に機能しているのは、かつての部戸にヒントを得た「中折れ式電動ルーバー」の開発である。遮光、採光、通風など、変化する四季の自然外気の調整と、屋内外の空間利用に自由を与える優れた建築部材の実現といえよう。

「ふれあい館」の名にふさわしく、人と自然、人と人の望ましいふれあいと保健福祉サービスの多様な利



用に対応するこの建築は、今後のさまざまな可能性を示す原形として高く評価された。

(野口瑠璃)

所在地：千葉市花見川区瑞穂2-519-3
 施主：鹿島建設(株)
 設計：鹿島建設(株) 一級建築士事務所
 施工：鹿島建設(株) 東京支店 千葉営業所

環境に配慮した建築物

ガーデンプラザ新検見川



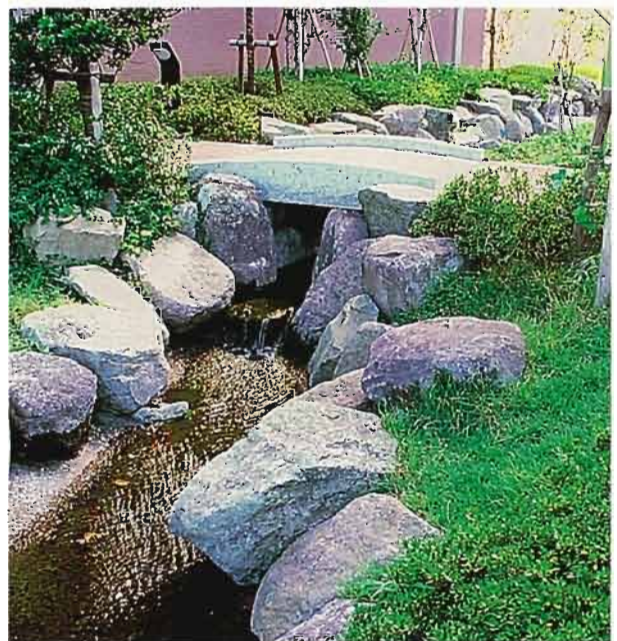
撮影：松浦範明

8

花見川の河口から4kmほど内陸に入った、緑の多い丘陵地に広がる大規模な住宅開発地域「瑞穂の杜」のほぼ中央に位置する。計画予定戸数が1,000戸を超える大規模な集合住宅群であり、遠目にはそのボリューム感が周囲を圧倒しているようにも感じられるが、それぞれの棟の足もと廻りや周辺とのつなぎかたには実に細かな配慮がなされている。「都市と田園のゆるやかな調和」を開発テーマにし、地域の自然や生態系の調査をもとに、ビオトープの概念をベースに小川や池や植生が整備されている。建物本体に関しても、バルコニーや屋上など多くの仕掛けがなされているようだが、環境共生住宅としての成果が現れるには、まだ時間がかかりそうである。開発の規模の大きさにもかかわらず、外部空間の計画が細部まで配慮されていて、実際に新しい住人と地域の架け橋となっている。

また、環境への配慮や積極的な仕掛けが、住み手の選択の中で評価されているということが、これからの集合住宅を考えて行くうえで、新しい価値観の先導的な施設として評価された。

このような、景観や環境に配慮した施設が、これか



撮影：君塚和香

らも十分に地域に開放され、コミュニティの形成に役だつことを期待しての選考となった。

(工藤和美)



建築文化奨励賞

景観に配慮した建築物

旧堀田邸

最後の佐倉藩の城主であった堀田正倫が、東京深川から旧領地であった佐倉に居を移すため、明治23年に木造平家一部二階建ての建物と庭園が整備された。堀田家によって維持されていたこの庭園と建物は、昭和17年から日産厚生報国会の療養施設として利用されていたものを、佐倉市が文化財に指定し、保存整備してきた。

建物は連続された玄関棟・居間棟・座敷棟・書斎棟・台所棟で構成される180坪の和風邸宅であり、堀田家文書に80点以上の普請関係資料が残されていて、療養所として改築されたものを普請時の状態に忠実に復元されている。

当時は時代を反映して洋風建築もしくは和洋折衷の建築が大半な中で、旧堀田邸のような上級住宅は極めて類例が少ない。主屋の間取りが近世上級武家の住宅形式を引き継ぎつつ近代生活に合わせた部分も存在し、明治期における上級和風住宅の特色を良く示した建物である。伝統的な手法の中に、ボルトやナット等を利用

所在地：佐倉市鎗木町320番地8他

施主：佐倉市

設計：(有)眞木

施工：大成建設(株)千葉支店



用した新しい手法が取り入れられており、近代から現代につながる建築の歴史を見ることができる。

建物と庭園の一体的な景観に配慮した保存整備が評価できる。

(島貫俊秀)

9

高齢者・障害者等に配慮した建築物

清水観音の森駐車場便所

板東32番霊場「清水寺」の参詣者や「清水観音の森・郷土環境保全地域」の利用者のための便所。

管理上、壁をRC造としているが、屋根を勾配屋根として日本瓦を使用し、下地や独立柱・外部ベンチ等に木部を見せて、周囲の景観に配慮している。内部の清掃のしやすさ、小屋裏を開放した通気の良さ、窓を広くとった明るさ、安全さ等に加えて、施工の丁寧さに好感が持てた。

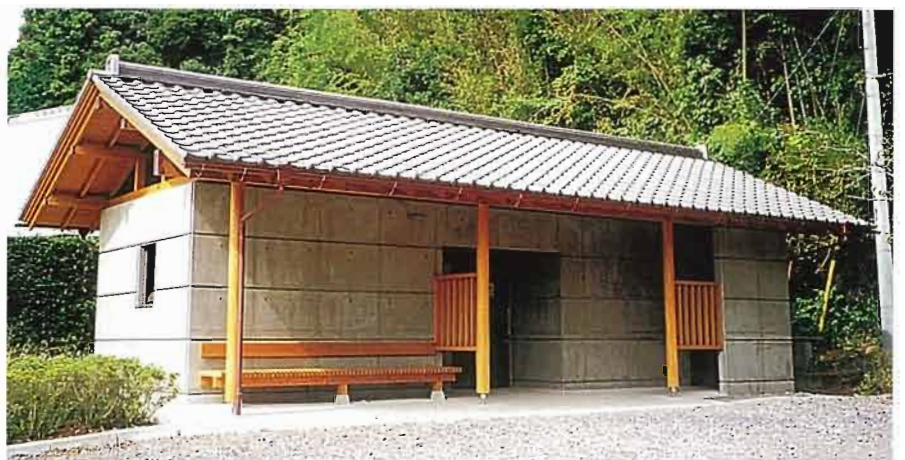
建物は、ほぼ完全なバリアフリーとして、高齢者・身障者並びに幼児同行の人に対する設備の配慮等が見られる。これも管理上の選択と思われるが、隔板と扉のステンレス鋼板は、外観に反して硬い。今は、村里に一棟ポツンと建っているが、2期工事の一連の外構工事の完成に期待する。

所在地：夷隅郡岬町鴨根字扇田1257、1258

施主：岬町

設計：(株)吉田設計

施工：(株)米本工務店



撮影：山口晶史

この建物は、応募部門が「高齢者・身障者等に配慮した建築物の部」であるが、選考委員会では、「景観に配慮した建物」としても評価のあったことを記しておく。

(相原敏郎)

所在地：印西市草深字石道谷津1613-1

施主：都市基盤整備公団

設計：(株)空間設計研究所

施工：伊藤忠林業(株)

環境に配慮した建築物

草深中央公園 公園施設

本施設は防災調整池に隣接する中央公園の中に設けられた公衆便所である。近年、この種の施設に特徴のあるものが多々見られるようになったが、これほどエネルギーや安全・快適性等を柱とするテーマにコミットし、シンボリックに表現し得た例も少ないであろう。

井水を汲み上げ貯水する目的で設けられた太陽電池をパラボラアンテナ状の円形屋根に戴き、夜間はそれをライトアップしてまちのランドマークに見立てる。便所という人間の生理に係わる極めて日常的な機能を出発点にして、どこまでそれを「環境」をテーマにしたシンボリックな施設にできるのかを試みたと言うべきか。現在を建築と環境との間の諸問題に対処する初動期、過渡期としてとらえるなら、それがどんなに小規模であっても、その建築的な意味と努力を過小評価してはならない。しかし、それでもそこにやや突出したアンバランスな印象を



払うことができないのは、過渡期特有の意図の過大さ故ではないだろうか。

(岩村和夫)

応募(推薦)建築物一覧

表彰作品

- ① 印西市ふれあい文化館(印西市)
- ② アミュゼ柏(柏市)
- ③ 指宿邸(習志野市)
- ④ ケアハウスサニー秋桜(千葉市)
- ⑤ 君津市保健福祉センターふれあい館(君津市)
- ⑥ ガーデンプラザ新検見川(千葉市)
- ⑦ 旧堀田邸(佐倉市)
- ⑧ 清水観音の森駐車場便所(岬町)
- ⑨ 草深中央公園 公園施設(印西市)



表彰作品所在

現地調査の対象となった建築物 (表彰建築物を除く)

- 千葉都市モノレール県庁前駅・羽衣横断歩道橋(千葉市)
- 船橋市ケア・リハビリセンター
第2ワールドナーシングホーム(船橋市)
- 東葛テクノプラザ(柏市)
- YM邸(神崎町)
- 光町立 図書館(光町)
- 知的障害者更生施設ガーデンセブン(千葉市)
- 船形堂の下公衆トイレ(館山市)
- 矢矧邸(館山市)
- 川崎邸(鴨川市)

その他の応募(推薦)建築物

- | | | | |
|-----------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 成東町保健福祉センター(成東町) | 田中邸(成田市) | 佐原市庁舎(佐原市) | 東葛クリニック病院(松戸市) |
| 美登利亭(松戸市) | 羽田ビル(千葉市) | 東船橋の家(船橋市) | 日蓮宗 清澄寺研修会館(天沼津町) |
| 浦安市日の出公民館(浦安市) | 今井勇邸(館山市) | 秋津の家(習志野市) | 山口邸(千倉町) |
| 医療法人社団銀杏会三橋クリニック(市原市) | 学校法人中村学園(千葉市) | 銚子市市民福祉センター(銚子市) | かずさ建設会館(本更津市) |
| 知的障害者更生施設アガベの里(千葉市) | 千葉市北リサイクルプラザ(千葉市) | セクター本社ビル(千葉市) | 君津信用組合平川支店(本更津市) |
| αグランデ緑が丘武番街(八千代市) | 九十九町生涯学習センター(九十九町) | 宮内ビル(千葉市) | 大曾根公民館(袖ヶ浦市) |
| 幕張ベイタウン ミラリオ(千葉市) | 白子町第三コミュニティプラント(白子町) | JRC フライトキッチン(成田市) | 山王病院医療センター(千葉市) |
| 大本山中山法華経寺 本院(市川市) | 近鉄エクスプレス成田ターミナル(芝山町) | 柳川総合支店「みんなの里」(柳川市) | ケアハウスモンテグロネ(千葉市) |
| 城西国際大学(東金市) | 千葉市消防局・千葉市中央消防署(千葉市) | 夷隅町立国吉中学校屋内運動場(夷隅町) | 老人保健施設フェルマータ船橋(船橋市) |
| 社会保険船橋保健看護専門学校(船橋市) | 千葉県庁庁舎(佐倉市) | 佐倉市ユーカリが丘地区 黒鷲整備地区(佐倉市) | 大原総合庁舎(大原町) |
| 市川妙典小学校(市川市) | いち はら 聖苑(市原市) | 中村ビル(千葉市) | 千葉県住宅供給公社 緑ヶ丘10c団地(茂原市) |
| 町立季美の森小学校(大網白里町) | RC age (アールシー エイジ)(八千代市) | 日本コンピュータグラフィック本社(市原市) | |
| 市立染井野小学校(佐倉市) | 八千代台の家(八千代市) | 千葉県立葉巻学校流山高等学校(流山市) | |
| 市立四街道中学校(四街道市) | 東庄町保健福祉総合センター(東庄町) | 千葉市若葉消防署 大宮出張所(千葉市) | |
| 我孫子市ふれあい工房(我孫子市) | 野田みずきショッピングセンターⅡ期(野田市) | ファミリーオ館山(館山市) | |
| ネッツタウン新港(千葉市) | | 老人保健施設 杏の里(市原市) | |



デザイン：株式会社GKデザイン機構
制作：鋳心ノ工房

選考基準

- 千葉県内において、平成6年4月1日から平成11年3月31日までに完成（増築、改築、リフォームを含む）し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物で、この表彰の趣旨に適合しているもの。
- 優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
 - ①地域の特性や周辺の環境に十分な配慮がなされ、建築物と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観に寄与しているもの。
 - ②安全性、快適性、利便性に優れ、高齢者や障害者等がいきいきと豊かな生活が送れるように十分な配慮がなされ、社会活動への参加が容易にできるような環境整備がなされているもの。
 - ③エネルギーの省力化や資源の高度な有効利用を図ったり、地域生態環境と親和させるために、自然を取り入れた建築の工夫がなされ、人と環境に対して、安全安心で健康快適な室内環境の性能について、配慮がなされているもの。
- 建築基準法等の各法令に適合しており、近隣との紛争が生じていないもの。

選考委員

委員長	北原理雄	：千葉大学工学部教授	委員	島貫俊秀	：(社)日本建築家協会・千葉代表
副委員長	岩村和夫	：武蔵工業大学環境情報学部教授	委員	周郷紀男	：(社)千葉県建築士会会長
委員	相原敏郎	：(社)千葉県建築士事務所協会相談役	委員	園田眞理子	：明治大学理工学部専任講師
委員	明智克夫	：千葉県建築設計監理協会会長	委員	辻宜志	：(社)千葉県建設業協会専務理事
委員	川上昌子	：淑徳大学社会学部教授	委員	野口瑠璃	：環境デザイナー
委員	神林保夫	：(福)千葉県身体障害者福祉協会常務理事	委員	佐藤喜美子	：千葉県社会部長
委員	君塚洋司	：(福)千葉県社会福祉協議会常務理事	委員	田辺英夫	：千葉県都市部長
委員	工藤和美	：建築家			

※ 敬称略・委員は五十音順

共催・後援・協賛団体一覧

共催 (社)千葉県建築士会

後援 (社)千葉県建築士事務所協会 (社)千葉県建設業協会 (社)日本建築家協会・千葉
千葉県建築設計監理協会 (福)千葉県社会福祉協議会 (福)千葉県身体障害者福祉協会

協賛 千葉県住宅供給公社 (財)千葉県都市公社 (財)千葉県都市整備協会
(財)千葉県地域整備協会 千葉県土地開発公社 都市基盤整備公団
大多喜ガス(株) 千葉ガス(株) 京葉ガス(株)
千葉県昇降機等検査協議会

第6回千葉県建築文化賞にご応募いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

応募総数101件の中から建築文化賞6点、建築文化奨励賞3点を表彰させていただきましたが、この他にも優れた建築物は数多くありました。建築文化賞はこれからも続けてまいりますので次回への御応募を期待しております。

最後に千葉県建築文化賞に後援・協賛をいただきました団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ先

千葉県都市部建築指導課
〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1
TEL.043-223-3186

(社)千葉県建築士会
〒260-0854 千葉市中央区長洲2-12-25
TEL.043-222-0109

千葉県